

2016年12月19日掲載

医療費と歯科治療
口の管理で健康維持

厚生労働省が平成26年度の国民医療費を発表しました。全体の医療費は約40兆8千億円で、そのうち歯科の医療費は約2兆8千億円でした。いずれも過去最高になったそうです。その中で最も医療費がかかるのは入院医療費で、年齢別では65歳以上の高齢者が多くを占めています。医療費に使われている公費は約1.5兆円で、国の年間予算が約9.5兆円ですから、多くの税金が医療費に投じられていることとなります。

医療費ができるだけかからないようにすることは、国の財政から見ても重要で、その一番は病気にならないようにすることです。病気の多くは生活習慣病です。その予防に関しては、メタボ対策などさまざまな取り組みがなされていますが、糖尿病をはじめ心臓病や脳血管障害、最近では胃腸障害までもが歯周病などの歯科疾患の影響を少なからず受けていることが分かってきました。

さらに、入院中の患者さんに対して口の管理をしっかり行くと、入院期間が短くなることも分かっています。健康な時も病気になった時も、口の中を管理することで、人としての多くの楽しみが維持され、長い健康寿命を得ることができ、さらには財政改善にもつながります。まずは口の管理から始めてみましょう。